がん教育について考える

～乳がん体験者として、医療者として子どもたちに伝えたいこと～

三好さんたち「がんサポートかごしま」では、2010 年から鹿児島県内の小学校高学年から高校生を対象に「いのちの授業」を行い、学校に多数の講師を派遣されています。

このたび、講師に三好さんをお迎えし、その経験に学んで、乳がんを体験された方や医療者、乳がん啓発に携わる人たちなど、がん教育に関心のある方たちを対象に、いのちの大切さとがんの基礎知識について、学校の授業でどのよう伝えるのか、がん教育について考えます。

<講師の三好綾さんの学校での授業風景>

- **日時：2019 年 8 月 24 日（土）14：00～16：00　（受付 13：30～）**
- **場所：合人社ウェンディひと・まちプラザ（広島市まちづくり市民交流プラザ）**
  北館 6 階マルチメディアスタジオ
  広島市中区袋町 6-36（袋町小学校併設）　TEL: 082-545-3911
- **対象：ピンクリボン・アドバイザー、乳がん体験者、医療者、学校関係者など**
  がん教育に関心のある方
- **定員 110 名**　　**参加費無料**　　**事前申し込み不要**

第一部 ＜講 演＞	
テーマ	**「がん患者としていのちの授業で伝えたいこと」**
講 師	三好 綾（みよし あや）さん NPO 法人がんサポートかごしま理事長・一般社団法人 全国がん患者団体連合会事務局長 1975 年生まれ、鹿児島県薩摩川内市出身。長男出産の 8 カ月後、27 歳の時に乳がん発見。2007 年に「がんサポートかごしま」を設立した。2010 年に NPO 法人化し、理事長に就任。同年から主に鹿児島県内でがん教育「いのちの授業」を実施。「いのちの授業」語り手講座を開催し、講師の養成を行っている。※「いのちの授業」：鹿児島県内の小学校高学年～高校生を対象に、2010 年から 2019 年 3 月までに小学校 97 校、中学校 33 校、高校 9 校（延べ 139 校）実施。
第二部 ＜対 談＞	
テーマ	**「学校のがん教育の実際」**
進 行 ゲスト	広島大学病院乳腺外科医師　恵美 純子（えみ あきこ）さん 三好　綾 さん

主催・問い合わせ：**NPO 法人 ひろしまピンクリボンプロジェクト**
住所：〒730-0035 広島市中区本通 4-13 ゆりいか 4 階
電話：082-544-0727（FAX 兼用）・E-mail：info@pinkribbon-h.com
後援：広島県教育委員会・広島市教育委員会（申請中）